

保護者の皆様

松田町立松田幼稚園



おしらせ(2月)



○豆まき 2月3日 (全園児)

今年は年長児のアイデアで、年長児鬼を年少児が追いかける、その後先生鬼を年長児が追いかけるという計画のもと行われました。年男に扮した園長先生が「心の中にいる鬼を退治しよう」と話をした後、年長児は鬼になり園庭のいろいろな場所に隠れ始めました。「年少さんだから優しくしよう」という年長鬼でしたが、豆を持った年少中さんはやや控え目で、豆を投げるというより自分達が逃げていました(笑)その後の先生鬼には子どもたち全員がかかってきて逃げるのに大変!最後はへとへとになってしまいました。「泣き虫鬼」「声大きすぎ鬼」「ゲームばかり鬼」「ユーチューブ大好き鬼」など心の中の悪い?鬼は無事退治できたでしょうか?



○交通安全教室 2月6日 (年長児)

生涯学習センターから松田小学校までの通学路をパワーポイントで確認しながら、横断歩道の渡り方、信号の見方、右側通行など交通ルールを守り、安全に歩くことができるように指導しました。「ぼく学校行ったことあるよ」と言う子もいましたが、ぜひ入学までに実際に親子で通学路を歩いて、危険な箇所等確認し、安心安全に通学できるようにしてあげられるといいですね。

○保育参観発表会「うさぎ組遊園地」 2月14日 (年中 うさぎ組)

段ボール電車は保育室から廊下へと飛び出し、いちご組の子どもたちを乗せて、いろいろな駅に停車しました。そんな普段の遊びから電車に乗ってさまざまな世界を旅する物語が生まれ、電車・海・海賊・忍者・動物・・・子どもたちの大好きが詰まった素敵な劇になりました。年長組の劇を見た後「僕たちもボトルグリップやりたい」「年長さんに鉄棒の逆上がりを教えてもらおう」など年長児への憧れとともに自分達の劇にも取り入れようとする気持ちも高まっていきました。発表会が近づくにつれて自分のことだけでなく、友達が困っていると「こっちだよ」と小さな声で教えてあげたり、待っている時も応援してあげたり・・・発表会を成功させたいという思いでクラスが1つにまとまっていく様子が強く見られました。去年恥ずかしがっていた子も堂々と友達と一緒に参加している姿に大きな成長を感じました。

後日お休みしていた子が参加し、その保護者を招待し2回目の発表会を行いました。「全員でやりたい」というみんなの思いがあふれていて、温かい発表の場が再びつくられました。



○お別れ遠足(吾妻山公園 2月10日)(江ノ島水族館 2月18日) (年長児)

JR 松田駅に集合し、電車を使い二宮駅まで行きました。子どもたちだけで電車に乗るのは初めて!ホームで待っている時はかなり緊張している様子が伺えました。その後吾妻山公園までは長い階段を歩きやっと到着しました。挨拶をする・人数を確認する・先頭を歩く・いただきます・ごちそうさまをするなど1人が1つリーダーになり、みんなで楽しく行けるよう責任をもって行動していました。いろいろな遊具に挑戦した後、芝生に寝転んだり山頂から富士山や海を眺めたり満開の菜の花の香りを嗅いだり・・・春の気配を体いっぱい感じることができました。

江ノ島水族館には、貸し切りバスを使い、羨望のまなざしの年少中児に見送られながら「行ってきまーす」と元気いっぱい幼稚園を出発しました。戻って来た子どもたちは「イルカのショーでイルカが回ったり飛んだりしていた」「ペンギンがかわいかった」「バレンタインの丸い入れ物の中に色が変わるクラゲがいた」「ねこざめのお腹を触った」「ヒトデがひっくり返ったのに自分で起きた」など興奮が冷めないように次々に話してくれました。2つのお別れ遠足は、実施までの話し合いの過程での大きな成長とともに幼稚園生活の忘れられない大切な思い出となりました。



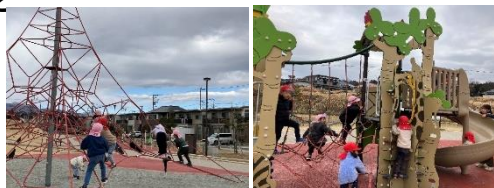
○ロウバイ見学 2月17日 (年長児)

7月の3園交流会の時、中津川で川遊びをして以来の寄への園外保育です。いつも交流している寄幼稚園の友達が待っていて案内してくれました。山道を歩いていくうちに「いい匂いがしてきた」と思わず立ち止まるほどほんのり甘い香りが漂ってきました。「鹿のうんちと種は間違えやすいから気を付けてね」と言われ、よく見ると色は同じで形が違うことに気付きました。その後落ちていた花を集めて香りを楽しむ子も見られました。春の気配を感じられる素敵な園外保育となりました。



○園外保育 大井中央公園 2月18日 (年少中児)

年長児が水族館に行った後、園バスで大井中央公園に出かけました。肌寒い中でしたが、子どもたちは元気いっぱいいろいろな遊具に挑戦しました。幼稚園とは形が違うブランコは乗るのにかなり苦戦している様子でしたが乗れた時は大喜びでした。ロープのぼりでは「1番上は無理」と言っていた子が友達の応援も励みになり、見事1番上まで登り切りました。途中怖くなり下りられなくなった子を手助けに行こうとすると「ぼくが行く」と横から颯爽と助けに向かう勇敢な子も現れました。「ちょっと頑張ればできる」くらいの目標設定が挑戦意欲を高めるようです。築山まで追いかけてこをしたり、山の上から滑ったり、中には遊びに来ていた保育園の先生と親しく話している子も見られ、さまざまな経験ができました。



○松田小学校との交流会 2月20日 (年長児)

コロナ禍のため中止となっていた小学校との交流会が再開されました。小学校に到着すると、校門で校長先生に迎えられ、体育館に案内されました。初めにグループごとに分かれ、5年生がいろいろな教室を案内してくれました。「みんなお勉強しているから静かにしてね」と言われ、緊張はピークとなりました。しかし1年生の教室に入ると前の年長さんが、姿勢よく座って真剣に授業を受けている様子を、懐かしさと同時に尊敬の眼差しで見っていました。

学校探検が終わると、先ほど授業を受けていた1年生が体育館でさかなつり・的あて・輪投げ・けん玉・コマ回しなど遊びコーナーを準備してくれていました。緊張は喜びに変わり、やりたい遊びに夢中になって取り組んでいました。最後にメダルをもらい帰ってきた時には「学校きれいだった」「私たちも優しいお兄さんお姉さんになりたい」「めちゃうやくち早く学校に行きたくなった」など早くも小学校への期待が大きく高まったようでした。



○防犯教室 2月27日 (全園児)

東門昇降口から不審者が侵入したという想定で防犯訓練が行われました。初めての訓練なので、子どもたちが恐怖心を抱かないように事前に話をし、集合した状態で行いました。その後、ホールに集まり、防犯のDVDを視聴しました。その中で①出かける時には行き先を言う ②1人では遊ばない ③知らない人にはついて行かない ④怖い時には大声を出して逃げるなど4つの約束を守ることを学びました。最後に実際に「助けて」と大きな声を出す練習もしました。

松田幼稚園には常時警備員が配置されています。今後も非常時に備え職員の連携体制を強化し、さらに安心・安全な保育活動が行われるようにしていきます。

